

# ふれあい通信

爽秋号



## 特集

### 知らないでは済まされない!? これからの学校運営の仕組み「コミュニティ・スクール」

これからの学校と地域に必要なこと

社会の急激な変化に伴い、学校と地域双方に課題が生じています（資料①参照）。その変化や課題に対応するために求められることは、大きく2つあります。

1つは、学校だけでは得られないこれからの生き抜く力を子どもたちが身に付けること。もう1つは、地域住民が自ら地域を創っていくという意識に転換することです。

では、どうすればこの2つを達成できるのでしょうか。学校だけが頑張っただけではだめです。地域だけが地域を盛り上げようとしてもだめです。現在考えられる最も有効な手段は「学校と地域が連携・協働すること」でしょう。その連携・協働の具体的な1つの形が『コミュニティ・スクール』と言われるものです。

#### コミュニティ・スクール

コミュニティ・スクールとは、簡単に言えば「学校を運営する仕組み」です。地域には、様々な力や経験をもった方がたくさんいらっしゃいます。その方々に代表して学校運営に携わっていただくのがコミュニティ・スクールなのです。

学校がコミュニティ・スクールとして出発するために一番必要な要件は「法に基づいた学校運営協議会を設置すること」です。その委員には、教育委員会が委嘱した地域の代表の方々就いていただくこととなります。

下に示した資料②の中央に学校運営協議会が記されています。ここでは、学校運営に関する様々な協議が行われます。今までも似たような話し合いはあ

#### 資料① それぞれの課題

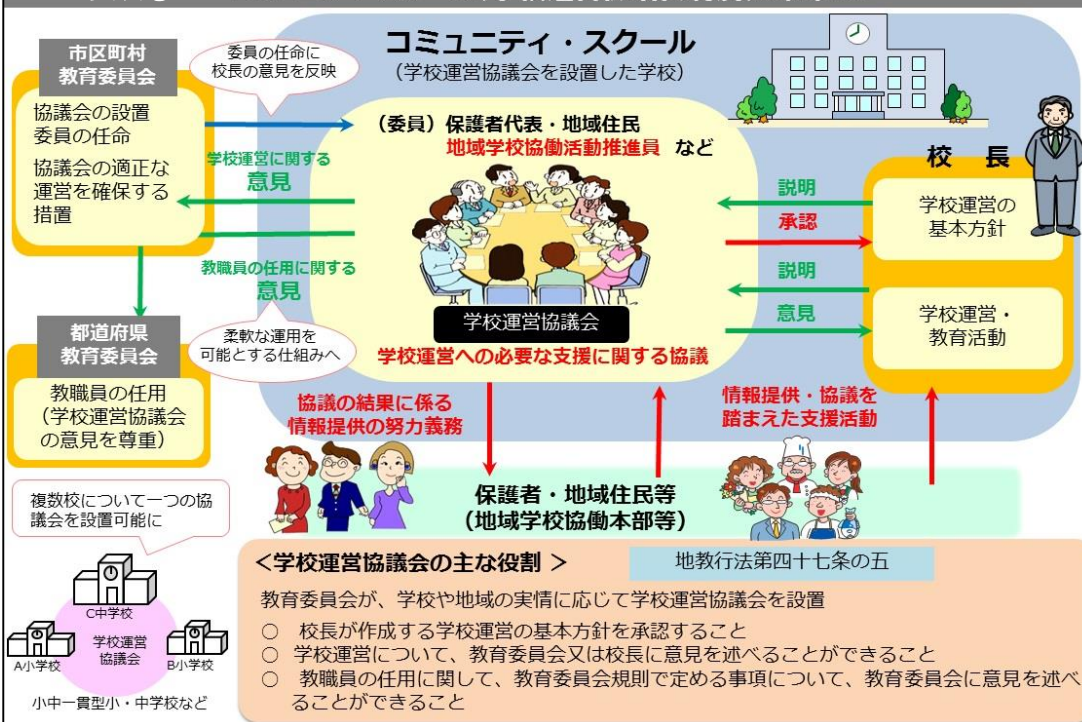
【学校】

- ・不登校児童生徒の増加
- ・特別な配慮が必要な児童生徒の増加
- ・保護者への対応
- ・児童生徒数の減少など

【地域】

- ・核家族化
- ・ライフスタイルの多様化
- ・地域の支え合いやつながりの希薄化
- ・地域教育力の低下など

#### 資料② コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の仕組み



りました。協議会には、明確な違いが、それは学校運営協議会に保障された3つの権限です。その権限とは、①承認 ②運営意見 ③任用意見（資料②下部参照）のことです。これはかつてない権限であり、保護者や地

域住民が学校の意思決定にも一定のかかわりをもつことを保障する制度でもあることを示しています。学校と地域が連携・協働するとは、どちらかがどちらかに従ったり、言うとおりに動くことではなく、パートナーとして同じ目線に

立ち、共通の目的に向かっていることを指します。学校と地域が本音で話し合い、その上でそれぞれの強みを生かし、力を合わせ、互いを活用し、合える存在となること。子どもたちが成長や地域づくりにとってこれ以上のパートナーはいないでしょう。

みんなで  
創るまる!



# 地域連携のキーパーソン「地域教育コーディネーター」

令和2（2020）年度 塩谷南那須地区コーディネーター養成研修②

令和2（2020）年9月1日（火） さくら市立喜連川小学校



実践を発表するコーディネーターの皆さん



コーディネーター会議の様子



喜連川小学校・鈴木厚子校長先生はじめ職員の皆様は、改めて感謝申し上げます。

「地域とともにある学校」を目指す以上、地域の人材を積極的に活用したいところです。しかし、人材を探したり、打合せをしたりすることを教員が行うのは時間的に難しいでしょう。

そこで、頼りになるのが「地域教育コーディネーター」です。毎年、教育事務所ではコーディネーター養成研修を実施しています。今年度はその2回目を、さくら市立喜連川小学校を会場に実施しました。

研修のメインは、「地域と学校を結びコーディネーター」による実践発表でした。

『私達流コーディネーターの流儀』10年間の実践から学んだこと』と題して、貴重なお話をいただきました。10年間の経験から導き出されたなコーディネーションに関する心構えやコツは、まさにこれからコーディネーターとして活動しようとする参加者にとって大変有益な情報となりました。

さらに、学校担当者とのコーディネーター会議の様子も参観させていただき、研修内容が寄り実践的なものとなりました。

喜連川小学校のコーディネーターの皆様、会場提供をしていただきありがとうございました。

## コロナ禍の中だからこそ、切れ目ない家庭教育支援を！

令和2（2020）年度塩谷南那須地区家庭教育支援プログラム指導者フォローアップ研修

令和2（2020）年9月8日（火） 塩谷庁舎401会議室



コロナ禍から切に感じることは、家庭教育支援の重要性です。大人の疲弊は直接子どもにも返ってしまおうという事実があります。

子育て、子どもの学校のこと、仕事のことなど様々な不安を抱えた方が増えている中だからこそ、切れ目ない家庭教育支援が必要です。

本研修は、そのような家庭教育支援に取り組んでいる指導者向け研修です。様々な技術や情報の提供、指導者間の情報交換等が活発に行われま

